

式 辞

伊予の広野に黄金波打ち、芽生え花咲く
今日の佳き日に、愛媛県議会議員 大西 誠
様、伊予市長 武智 邦典様をはじめ、多数
の御来賓の皆様のお臨席を賜り、令和八年度
愛媛県立伊予農業高等学校入学式を挙行でき
ますことを、心から感謝申し上げます。

ただいま入学を許可いたしました二百三
十三名の新入生の皆さん、入学おめでとうご
ざいます。皆さんの入学を、在校生・教職員
一同、心より祝福いたします。

本校は、大正七年に伊予郡立実業学校と
して開校されて以来、地域の皆様方の熱い思

いに支えられ、今年で創立百八年目を迎える
愛媛県内屈指の農業高校です。今日から皆さ
んは、その一員として新たな学校生活をス
タートさせますが、これから始まる高校生活
で二つのことをお願いしたいと思います。

まず一つ目は、農業の専門分野が学べる
本校で、「生命の大切さを知る」ということ
です。農業高校での学びは、教室での座学だ
けではありません。自ら土に触れ、種をまき、
動植物の世話をする実習が待っています。作
物が病気に負けず実を結ぶ力、動物たちが放
つ命の鼓動。それらを肌で感じることで、座
学だけでは得られない「生命の重み」を学ん
でください。この実感こそが、皆さんの人間
としての根底を強く、優しく支える力となり

ます。

二つ目は「感謝する心を持ち続けてほしい」ということです。皆さんはこれまで、家族や友人、先生や地域の方など、多くの人々の支えによって、今日までの道を歩んできたことと思います。その感謝の気持ちをこれまでもお世話になった方々に「ありがとう」という言葉で伝えてください。人に感謝できる人ほど自分を高め、さらには周囲からの多くの信頼を得ることができます。入学後も、この感謝の気持ちを忘れないでください。

最後になりましたが、保護者の皆様には、無事今日の日を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。私ども教職員一同、大切なお子様をお預かりします以上は、本校に

入学して本当によかったと思って卒業していただけるよう、力の限り教育に当たりたいと考えておりますので、どうか、家庭と学校が車の両輪となってお子様の成長を支えることができますよう、ここに改めて本校の教育活動に対する御理解と御支援をお願い申し上げ、式辞といたします。

令和八年四月八日

愛媛県立伊予農業高等学校長 永井 伊秀